

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ハピネスキッズ グランドスラム		2025年 3月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		広いスペースで、けがの起こりにくい環境設定を心掛けています。	特筆事項はございません。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	指定基準以上の人員配置を満たしています。	職員間で希望休は取得しつつも、基準配置の遵守に努められるよう、社内全体で気を付けていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		トイレの手すり、職員が別室から、個室の子どもの様子を見られるモニター設備等、スケジュールや注意事項の視覚支援などがございます。	ランドセルロッカーが、子どもが寄りかかったりした際に揺れる為、きちんと固定する必要性を感じます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	3	毎朝掃除を行い、清潔な空間になるよう心掛けています。	床が取り外し不可のカーペットであるため、子どもの嘔吐処理や、拭き掃除等が難しく、不潔感があるため、業者清掃等の見当が必要です。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個室は2部屋あり、児童の申し出や、児童の状態をみて、『クールダウン部屋』として使用しています。	個室の音がプレイルームや学習室に筒抜けであるため、個室外の児童に影響が及ばないよう留意が必要です。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	朝礼や事業所ミーティングだけでなく、業務時間内にも時間がある際は話し合い、やりづらさがある場合は都度改善に努めています。	広く職員が参画できるようにしていますが、参画頻度や傾向は一部に偏りがちな場合もある為情報共有や周知は抜かりなく行っていきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		できる限り、保護者様の要望に応えられる様、努めている所存でございます。	保護者様からお声をもらうだけでなく、こちらからも、お声をご提示しやすい環境づくりに努めてまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	朝礼や事業所内ミーティングは頻繁に行い、職員間で共有し、意見交換を行い、どうすれば改善するかを明確にして、実施しております。	より、職員間で意見交換がしやすい環境づくりに努めてまいります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	会議の際には、福祉関係者の方や学校関係者の方にも、事業所内に来ていただくことがあり、その際にお声をいただくことがございます。	明確な評価を得ているか、不明瞭な部分があるため、こちらからも積極的にお声をいただくような姿勢でおります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	専門資格を活かし、多角的な視点で、職員間で意見交換を行ったうえで、フォーマル・インフォーマルアセスメントを実施しております。	適切に使い分けを行っていただけるよう、フォーマル・インフォーマルアセスメントの違いをより明瞭にし、職員周知を行います。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	担当職員や児童発達支援管理責任者(以下、児発管)だけでなく、職員全体で、対象児童の課題やストレスについて話し合い・共有を行い、最終的には、児発管が設定いたします。	より適切な支援準備ができるよう、ひとりひとりを専門的立場で見て、職員間共有や意見交換を行い、支援内容の向上に努めてまいります。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	はい、行っております。	個別療育においては、実施児童が要支援児童に偏りがちな傾向もある為、満遍なく個別療育が行っていきけるよう、意識していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		はい、行っております。	児童主体での活動も取り入れておりますが、過度なお膳立てとならぬよう常に意識していく必要があると認識しております。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	はい、行っております。	円滑に連携支援が行えるよう、ご担当者様については、職員周知が必要であると認識しています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）については、都度早急に行うよう、努めております。	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換）は不十分な面があるため、必要に応じて学校との共有も行っていければと思います。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	事業所利用契約の際に、就学前情報については保護者様等に詳細に聞き取りを行い、記録させていただいております。	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との直接的な関係性構築は不十分な面もある為、積極的に関わる事が出来ればと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	はい、行っております。	職員周知を行っていく必要があります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	プログラムの外出先や、公園等に行った際に地域の方やお子様と関わる機会がございます。	具体的な活動としては取り入れていないため、必要に応じて検討していければと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6	現在行うことが出来ておりません。	児童のよりよい支援のみでなく、福祉の必要知識の強化にも繋がると考えておりますので、参加に努めたいと思っております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	保護者様参加型プログラム(研修等)や、帰りの送迎フィードバックの際は、詳細や対処法のお伝え、ご共有ができるよう努めております。	家族支援プログラムにつきましては、具体的な活動の設定が不十分であるため、検討していきたいと思っております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		はい、行っております。	ご伝達不足の無き様に努めてまいりますが、ご不明点があった際にも迅速かつ適切に対応できるようにして参ります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情は資質向上のためのありがたいご意見であると真摯に受け止めるとともに、保護者様やお子様の気持ちを重視し、誠心誠意の対応に努めております。	古情対応窓口は宛先を間違えていたようですが、すべての職員が適切に対応できるよう、教育を徹底していく所存でございます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	本事業所では、リタリコブログの更新のみ行っております。	保護者様のもとへ、より活動内容や事業所の状況が行き届くよう、通信作成などの検討も勤めて参ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		はい、留意しております。	特筆事項はございません。
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	プログラムの活動内容によっては、地域の外部講師の方に実施していただくこともございます。	事業所の行事に地域住民の方を招待すると言ったプログラムは著しく少ないため、どこかで取り入れることができないか、検討して参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	はい、行っております。 (2024年次より完全実施)	災害時にスムーズに行動できるようにして参ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	食物アレルギーについては十分に留意し、職員周知と共有の上、ミスの防止としてリストを目につきやすい場所に設置しております。	児童個人の医師の指示書に基づく対応かどうか不明瞭であるため、聞き取りと、記録に残すことを強化して参ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	はい、最大限行っております。	天井物が多いため、激しい地震などが起きた際の避難場所の確保を慎重に行う必要があるため、避難訓練時に都度明確にし、諸君周知を行ってまいります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3	都度の取り組み内容につきましては、保護者様へのフィードバックや、お話の中で行っております。契約時にお話させています。	不十分な点がある場合は改善に努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		はい、行っております。	特筆事項はございません。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	HappinessKids grandslum		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの状況を職員間で詳細に共有ができています。	朝礼で詳しく共有を行い、振り返りや後日対応を行っている。	それに対しての記録を残しアルバイトの職員さんへも周知徹底していく。
2	プログラム内容を細かく設定している。	プログラムを設定する時に職員間で案を出し合い、固定化しないように工夫している。	期間限定のイベントマルシェなどの情報を随時調べておく。
3	トラブルが起こった時の児童間の振り返りを個別で丁寧に行っている。	トラブルが起こったままにならないように可能な限りその場で振り返りを行っている。	職員が見ていないという状況が起こらないように書く場所への職員配置をより徹底する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	連絡帳の書き漏れがあること。	・来所してすぐに回収できていない。 子供の対応でいっぱいになってしまっている。	・職員が1人抜けても大丈夫な環境を見極めて記入を行う。お迎え組は早めに記入をする。
2	個別対応できる職員が限られている。	できる職員が対応すれば良いという考えになってしまっていた。	全員が対応できるように少しずつ職員の教育を行っている。
3	個別療育の時間がすくないこと。	・臨機応変に職員の場所移動ができていない。 ・1対1の対応時に全体を見れなくなる時がある。	・子供達との関係性を築く。 ・都度職員で共有して移動する。 ・プログラムの職員が当日変わっても大丈夫なように共有しておく